

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書	
2020年6月26日	
枚方市長 殿	
提出者	大阪府枚方市長尾峠町15番1号
住所	
氏名	プライムデリカ株式会社枚方工場
工場長	溝口 正秀
電話番号	072-866-8989
<p>廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。</p>	
事業場の名称	プライムデリカ株式会社 枚方工場
事業場の所在地	大阪府枚方市長尾峠町15番1号
計画期間	2020年4月1日～2021年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	食料品製造業
②事業の規模	製造品出荷額：95億400万円
③従業員数	900人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<ul style="list-style-type: none"> ○廃プラスチック類 ⇒ 圧縮 ⇒ リサイクル販売 ○廃プラスチック類 ⇒ 焼却 ⇒ 埋立 ○動植物性残さ ⇒ 飼料化 ⇒ 飼料売却 ○動植物性残さ ⇒ 肥料化 ⇒ 肥料売却 ○金属くず ⇒ 破碎 ⇒ リサイクル販売 ○蛍光灯 ⇒ 焙焼 ○乾電池 ⇒ 焙焼

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

- ・管理組織：工場長を責任者とし、その下に製造部・品質管理課・商品開発課・総務課・施設課・仕入課が並列されている。廃棄物の管理は仕入課が担当している。
- ・教育研修：社員に対しては直近の廃棄状況を随時連絡し、共通認識としながら減量意識を高めている。パート従業員については、朝礼等で分別廃棄の方法を指導している。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残渣
	排出量	512 t	2758 t
	(これまでに実施した取組) 生産管理システムに基づいて生産を行い、無駄な廃棄が出ないようにする。 廃棄物管理会社と提携し、動植物性残渣の排出量抑制の仕組みを構築した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	廃プラスチック類	動植物性残渣
	排出量	507 t	2731 t
	(今後実施する予定の取組) 生産管理システムに基づいて生産を行い、無駄な廃棄が出ないようにする。 廃プラスチック類の有価売却への方法を検討する。		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 動植物性残渣、廃プラスチック類、金属くず、蛍光灯、乾電池を分別・保管
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 生産現場での廃プラスチック類の分別を検討する

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

金属くず	蛍光灯	乾電池	
343 t	0.164 t	0.21 t	t

②計画

金属くず	蛍光灯	乾電池	
340 t	0.163 t	0.208 t	t

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	集計用シート参照	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	集計用シート参照□ t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	集計用シート参照□	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	集計用シート参照□ t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	集計用シート参照□	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	集計用シート参照□ t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	集計用シート参照□ t	t
(これまでに実施した取組) 動植物性残渣の中から野菜くずを分別し脱水減量を行う。			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	集計用シート参照□	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	集計用シート参照□ t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	集計用シート参照□ t	t
(今後実施する予定の取組) 生産管理システムに基づいて生産を行い、無駄な廃棄が出ないようにする。 廃プラスチック類の有価売却への方法を検討する。			

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	集計用シート参照□	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	集計用シート参照□ t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	集計用シート参照□	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	集計用シート参照□ t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（31年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	集計用シート参照□	
	全処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	再生利用業者への処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	(これまでに実施した取組) 処理委託業者への現地確認の実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	集計用シート参照□	
	全処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	再生利用業者への処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	集計用シート参照□ t	t
	(今後実施する予定の取組) 処理委託業者への現地確認実施継続		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

今年度【令和2年度】目標

提出者					
住所	名称	担当者	電話番号	FAX	電子メールアドレス
産廃廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店に管理する支店等の住所	産廃廃棄物を排出する事業場を総括的に管理する支店等の名称	報告担当者の氏名	報告担当部署の電話番号	報告担当部署のFAX番号	報告担当部署の電子メールアドレス
大阪府枚方市長尾町15番1号	プライム字リウ株式会社 枚方工場	仕入課	072-866-8845	072-866-6284	sasabiki.yamaguchi@primeelica.com

産廃廃棄物の種類 コード 名称	計										③+④ 自立処分又は 再資源化 投入処分を行った量(t)					
	①発生量 (t)	②自ら直接 再生利用した量 (t)	③自己直接 処分又は再資源 化投入した量(t)	④自ら中間処理した 熱回収を行った 量(t)	⑤④のうち 熱回収を行った 量(t)	⑥自ら中間処理 した後の減量 (t)	⑦自ら中間処理 により減量した 量(t)	⑧自ら中間処理 した後の再生利 用した量(t)	⑨自ら中間処理 し、又は他人に 売却した量(t)	⑩の量のうち、自 ら埋立処分及び 海洋投入処分した 量(t)		⑪の量のうち、自 ら埋立処分及び 海洋投入処分した 量(t)				
1 0604 ①廃プラスチック類	507	0	0	0	0	0	0	0	0	0	507	0	0	0	0	0
2 1000 ②動植物性残渣	2,731	0	0	1,547	0	192	1,355	0	0	0	1,376	0	0	0	0	44
3 1210 ③金属くず	340	0	0	0	0	0	0	0	0	0	340	0	0	0	0	0
4 3111 ④蛍光灯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 3520 ⑤乾電池	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6																
7																
8																
9																
10																
11																
12																
13																
14																
15																
16																
17																
18																
19																
20																
合計	3,578	0	0	1,547	0	192	1,355	0	0	0	2,223	0	0	0	0	44

(注1)トン未満は原則として四捨五入、ただし、数字が有効であれば小数点以下3桁まで記載は可。